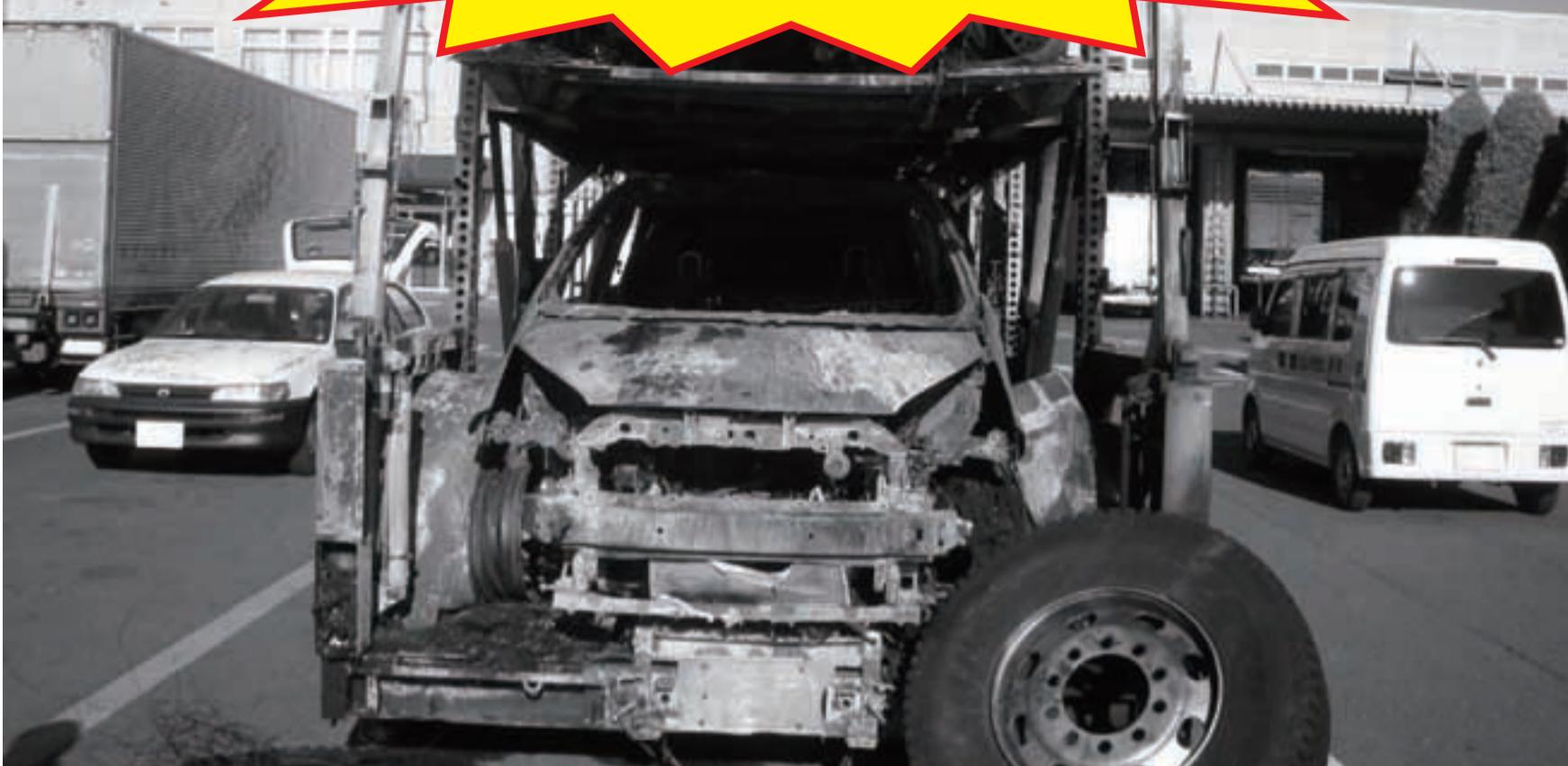


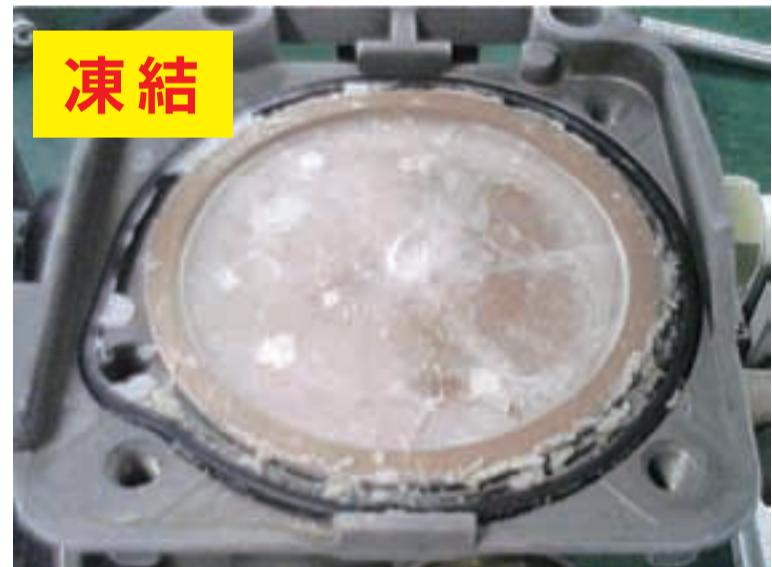
浜名ワークスより冬期安全対策についてのお願い

ブレーキバルブが凍結
車両火災発生!



リレーエマージェンシバルブ内に凝水があると冬期に凍結してブレーキの引き摺りが発生し、そのまま走行すると**車両火災**を引き起こす場合があります。

冬に入る前に必ずバルブ内の凝水点検を整備事業所で行なって下さい!



法令で定められた運行前点検でトラクタ及びトレーラのエアタンク内の水抜きを行なって下さい



エアードライヤーの定期交換も忘れずに実施



冬に入る前にリレーエマージェンシバルブ内の凝水を除去して安全な運行をお願いします!



—— 本件に関するお問合せは、下記にお願いします。 ——



株式会社 浜名ワークス サービス部 ☎053-583-1515

リレーエマージェンシバルブ凍結防止のために

リレーエマージェンシバルブに水が溜まると、
冬期に凍ってブレーキが引き摺り火災の原因となります。

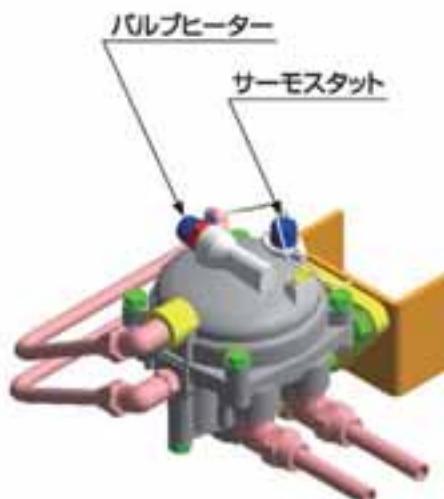
★運行開始前に必ずトラクタ及びトレーラ共にエアタンクの水抜きをお願いします。
(バルブヒーターのサーモスタットは外気温4±4℃で作動し、20℃で切れます。)

2011年5月生産車よりリレーエマージェンシバルブのバルブヒーターはエンジンキー「ON」で待機モードとなり **緑色ランプ** が点灯します。
外気温が4±4℃に低下すると自動的に作動し、作動中は **橙色ランプ** が点灯します。

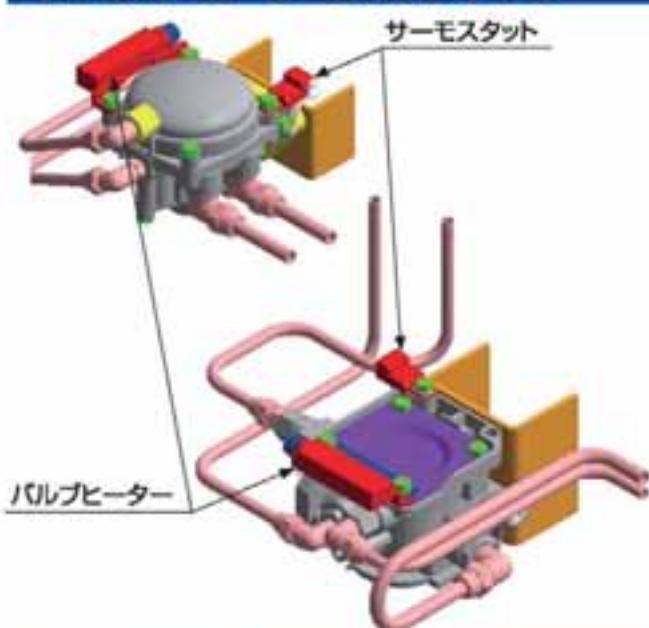


A. バルブヒーター内蔵タイプ

(2011年6月生産車より)



B. バルブヒーター外付けタイプ



【お願い】

トラクタとトレーラの連結作業を行なった際は、バルブヒーター電源コードを接続後、エンジンキー「ON」でバルブヒーター待機中の緑色ランプが点灯することを確認して下さい。

(注-1) バルブヒーターは凍結防止装置です。水分を除去する装置ではありません。

(注-2) 冬期は故障点検の為に、定期的にバルブ本体に手で触れヒーター効果を直接確認して下さい。
この時、火傷の危険がありますのでヒーター本体には絶対手を触れないで下さい。



株式会社 浜名ワークス

トラクタに装備されるリレーエマージェンシバルブ用ヒーター電源コードについて

2011年4月から弊社にて架装出荷されるセミトラクタには、トレーラのリレーエマージェンシバルブ用バルブヒーターの電源コードが、連結するトレーラ年式に係わらず標準取付けされます。

- トレーラにバルブヒーターが付いている場合は、必ず電源コードを接続して運転席で通電確認を行なって下さい。
(バルブヒーター待機中を示す緑色ランプが点灯すればOKです)

トレーラ前端部



運転席

バルブヒーター
待機中



バルブヒーター
作動中



- トレーラにバルブヒーターが付いていない場合は、電源コードは束ねてから必ずソケットをキャブ背面に設けてある

6芯コネクタ収納

に挿し込んでください。
「キーON電源」が流れています。屋根上に放置すると、雨天時や洗車時にショートします。

*リレーエマージェンシバルブ凍結防止の為、バルブヒーター未装着トレーラにはヒーターの取付けをお勧めします。



キャabin背面



本件に関するお問合せは、下記にお願いします。



株式会社 浜名ワークス サービス部 ☎053-583-1515